

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
森ノ宮医療学園 専門学校		昭和48年3月1日		安雲 和四郎		〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4丁目1-8 (電話) 06-6976-6889	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 森ノ宮医療学園		昭和52年4月1日		清 水 尚 道		〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4丁目1-8 (電話) 06-6976-6889	
目 的		森ノ宮医療学園専門学校 鍼灸学科は、はり師きゅう師に必要な理論並びに技術の専門教育を行い、かつ医療人としての人格・教養をたかめ、もって社会の福祉と国民の健康の保持と増進に寄与することを目的としています。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
医療	医療専門課程	鍼灸学科 (夜間部)	3年(夜)	94単位	平成十三年文部科学省 告示第二十五号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		74単位	4単位	0単位	2単位	14単位	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
180人		111人		19人		41人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表（有・無） ■成績評価の基準・方法について 試験等を総合的に評価し、絶対評価にて100点満点中60点以上を合格とします。	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■春 季：4月1日～4月7日 ■夏 季：8月1日～8月25日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■春 季：3月18日～3月31日 ■学 年 末：3月31日			卒業・ 進級条件	卒業条件は、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等、定められた学納金を完納していることと定めています。進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得することと定めています。	
生徒指導		■クラス担任制（有・無） ■長期欠席者への指導等の対応 担任と当該学生とによる面談を積極的に行っています。場合によっては、学生同意の上で保護者あるいは事務職員を交えることもあります。			課外活動	■課外活動の種類 鍼灸師関連学会にて研究発表を行ったり、文化祭当日に学校近隣の清掃活動等を行ったりしています。 ■サークル活動（有・無）	

主な就職先	■主な就職先、業界等 病院、クリニック、鍼灸院 ■就職率※¹ 93 % ■卒業者に占める就職者の割合※² 91 % （平成25年度卒業者に関する平成26年3月時点の情報）	主な資格・検定 はり師国家資格 きゅう師国家資格
中途退学の現状	■中途退学者 5名 ■中退率 3.8% 平成25年4月1日在学者 133名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 128名（平成26年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良 ■中退防止のための取組 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。	
ホームページ	URL: http://www.morinomiya.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

はり師及びきゅう師養成施設においては、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等により、教員としての条件が他の専門課程より厳しく設定されていますが、本校は開校以来、医療現場で活躍する臨床経験豊富な医療人による授業の必要性について強く認識しており、教員条件を有する臨床家に、兼任教員として、特に実際の医療現場で求められている技能・知識あるいは様々な症例・患者への対応等を踏まえた学生への実践的な教育をお願いしています。学期ごとに開催している職員会議には専任教員だけでなく、兼任教員にも出席していただき、授業内容や学生の状況等のご意見をいただいたうえで、学内で本校の教育方針との合致等の検討を行い、カリキュラムや学生指導に反映させています。以上のようなこれまでの状況に加えて、教育課程編成委員会の設置により、一層外部医療資格者との連携が行いやすくなったと考えています。今後も引き続き、多くの臨床家と連携を行い、実際の医療の現場が求める知識・技術・技能を把握した上で、より実践的な教育課程の編成ならびに教育内容の充実を目指していきたいと考えています。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年6月1日現在

名 前	所 属
山下 仁	公益社団法人全日本鍼灸学会
藤川 直孝	藤川鍼灸院
鈴木 紘	永楽鍼灸院
相江 大樹	葉山鍼灸院
安雲 和四郎	森ノ宮医療学園専門学校
森 優也	森ノ宮医療学園専門学校
松下 美穂	森ノ宮医療学園専門学校
初瀬川 初雄	森ノ宮医療学園専門学校
尾崎 朋文	森ノ宮医療学園専門学校

（開催日時）

第1回 平成26年8月8日（予定）

第2回 平成27年2月12日（予定）

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

前述の通り、本校は開校以来、医療現場で活躍する臨床経験豊富な医療人による授業の必要性について強く認識しており、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等に定められた教員条件を有する臨床家に、兼任教員として学生の指導をお願いしています。はり師及びきゅう師の養成については、卒業後に実際の医療現場で活躍できる人材を輩出することが重要であるため、これらの兼任教員には特に現場で求められる知識・技術の習得を目的として、実技・実習科目を担当していただいています。専任教員は基礎知識・基礎技術の教授、ならびに学生サポートに注力し、兼任教員に応用力を高める授業を依頼することで、医療現場のもとめる人材育成が可能となっており、その結果、病院、鍼灸院、クリニック等からの多くの求人件数に結びついています。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
基礎はり・きゅう実技	はり実技では、毫鍼による基本実技を知り、正確かつ安全に身体へ施術することができることを目指します。きゅう実技の基本実技を知り、正確ですばやく、かつ安全に人体に施灸することができることを目標とします。	米山鍼灸院
鍼灸診断治療学Ⅰ	鍼灸臨床において遭遇する代表的な症候について、実際の臨床に即した診察・検査を通して、診断の組み立てや治療方法についての知識、技能、態度を身につけます。またカルテについて理解し、問診、理学検査からカルテを作成することができることを目指します。	永澤鍼灸院
経絡経穴取穴実技	経絡経穴概論で学習した知識をふまえ、経穴の要穴を学習するとともに、経穴の局所解剖を学習し、正確な位置を取穴できるようにします。	学園前ファミリー鍼灸院
医療概論	医療を担う一員（パラメディカル・スタッフ）として、人類にとって医療とは何か、その原点（前提）を常に広い視野に立って深く洞察できる（問い直せる）人間性・人格を身に付けることを目指します。	鍼灸鴻仁

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

森ノ宮医療学園研修規程に基づき、計画的に教員を企業等と連携した研修に参加させています。同規程の定め通り、法人本部経営管理室が、所属長と協議の上、各教員の専攻分野はもちろん、教員として必要なその他の分野の知識を考慮し研修計画を定めています。本校では教員が二以上の専攻分野に精通することを目標としていることから、研修計画もそのような方針に沿って策定されています。研修計画は法人本部長の承認を得た後、所属長を通じて該当教員に通知され、実際の研修への参加という流れになっています。研修後は経営管理室により研修結果の精査が行われ、次年度以降のより有効な研修の実施に向けた検証が行われます。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年6月1日現在

名 前	所 属
安雲 和四郎	森ノ宮医療学園専門学校
伊藤 久夫	大阪府鍼灸マッサージ師会
川口 靖夫	大阪府柔道整復師会
赤丸 敏行	
浜田 暁	森ノ宮医療学園校友会
上條 藤夫	
森 優也	森ノ宮医療学園専門学校
葉山 直史	森ノ宮医療学園専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information.html#ContentWrapper>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.morinomiya.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 鍼灸学科（夜間部））平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			心理学	医療の基礎となる心のはたらきと患者心理について理解するため、病因論（ストレス論、症状と性格の関連など）治癒論（リラックス論、心理療法論、治癒プロセスなど）について学習する。	1 前	36	2	○		
○			臨床心理学	心理学の各論として人生プロセスの理解の上に人生の各時期における代表的なストレス症状の原因から治療を知る。様々な症状について心理的、発達の、家族的、全人的に理解し、その原因から治療、治癒までの説明ができ、治療的方向性を獲得する。	1 後	36	2	○		
○			生物学	生物が示す生命現象を対象とする生理学や人体各部の構造・位置などを研究する解剖学を学ぶ上で重要な生物学の基礎知識を習得するのを目標とする。	1 後	36	2	○		
○			栄養学	身体（臓器）の働き（機能）を学び、代謝（身体の中の物の流れ）を説明できるようになり正常（健康）な身体の維持のメカニズムを理解する。健康の維持と食べ物の関係を理解する。	1 前	36	2	○		
○			英語Ⅰ	医療従事者に必要な医学英語の知識を身につける。特に、人体各部の名称や、筋、骨格系の名称が医学英語の構造が理解できる。医学英語の単語の意味が理解できる。	1 前	36	2	○		
○			英語Ⅱ	医療従事者に必要な医学英語の知識を身につける。特に、内臓の名称が医学英語の構造が理解できる。医療現場で英語による基本的なコミュニケーションができる。また、カルテを医学英語を用いて記入できるようにする。	1 後	36	2	○		
○			保健体育	健康の維持・増進を目的に運動を行う際、我々の身体はどのような生理的反応を示すかとともに、その限界を理解する。そして、この授業を通して皆さんの自己の体力や日常生活状況を考慮した、実行可能な運動処方を作成したり、生涯スポーツの必要性について考える。	1 前	36	2	○		

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			解剖学Ⅰ	前半は、骨を主体とした授業を行いそれに伴う関節や靭帯の名称などを学習し、人体の「屋台骨」を学習する。中盤では中枢神経を学び、外景・内景の名称などを学習し、人体の「中枢部」を学習する。 後半では末梢神経・感覚器について授業を行う。末梢神経においては特に脳神経を主体に学び経路・基本的機能を頭蓋骨を踏まえて学習する。	1通	81	3	○		
○			解剖学Ⅱ	筋の構造、局所解剖について理解し、また体表観察を行うための基礎を学習することを目的とする。筋の起始・停止・作用・支配神経、また筋の構成に関与する組織についてその働きを学習する。	1前	34	1	○		
○			解剖学Ⅲ	人体を構成する器官の中でも、消化器系・泌尿器系・生殖器系について学習し、それらの生体内での役割と特徴を理解する。	2通	72	3	○		
○			生理学Ⅰ	臓器の働きと機能を学び代謝(身体の中の物の流れ)を理解し、正常(健康)な身体の維持のメカニズムを把握する。	1通	48	2	○		
○			生理学Ⅱ	各臓器の機能、その間を流れる物の代謝を理解し、正常(健康)な状態の身体を理解し、異常(病的)な状態(病理学)と比較することで、病的状態の程度を診断できる力の基本とする。	2通	72	3	○		
○			生理学Ⅲ	人体におけるそれぞれの機能的役割を正確に理解し、統合的な人体の仕組みを説明できる。生命現象を扱う生理学の特徴を述べ、身体を構成する細胞の構造と働き、細胞内での物質代謝、細胞内外を満たす体液の組成や働きなど、生理学を学ぶ上での基礎事項を理解する。	3前	24	1	○		
○			運動学	運動学を理解することにより鍼灸師に必要なリハビリテーションの知識・技術を修得し、臨床の場で生かせる事ができるようにする。	3前	24	1	○		

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			衛生学・公衆衛生学	健康について理解し、人々の健康を増進させるための諸要素と予防の重要性を認識させ、施術に際しての消毒全般についての認識を身につける。	1通	60	3	○		
○			病理学概論Ⅰ	医療従事者として必要な病気についての基礎的知識(疾病の種類、原因、形態、成り立つ機序)を西洋医学(病理学)の立場から学習し、鍼灸施術に役立てることができる。	2通	48	2	○		
○			病理学概論Ⅱ	解剖学に重ねて、各臓器の機能、その間を流れる物の代謝を理解し、正常(健康)な状態の身体を理解し、異常(病的)な状態(病理学)と比較することで、病的状態の程度を診断できる力の基本とする。	3前	24	1	○		
○			臨床医学各論Ⅰ	現代医学領域(内科・脳神経系を中心)の代表的な疾患についての知識を習得し、病態生理と診断学における基本的事項を理解し、診断の組み立てと治療方法について理解する。	2通	72	3	○		
○			臨床医学各論Ⅱ	運動器の障害を学習する。スポーツ障害に対する予防と治療穴を理解する。卒業後の臨床現場に生かすことができるようになる。	2前	24	1	○		
○			臨床医学各論Ⅲ	一般内科の呼吸器を中心に内分泌・代謝疾患も含め主な疾患について概念を理解し、その疾患の症状、西洋医学的な検査法や治療法についても学び、鍼灸師として求められる病態の把握ができるようになる。	3通	24	1	○		
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションの大筋を理解し広く使用される運動療法や物理療法への理解と実施が可能になるように努める。	3前	36	1	○		
○			医療概論	医療を担う一員(パラメディカル・スタッフ)として、人類にとって医療とは何か、その原点(前提)を常に広い視野に立って深く洞察できる(問い直せる)人間性・人格を持つ。	1前	24	1	○	△	

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			関係法規	法の意義と体系、免許と試験、免許の資格要件、申請、書き換え交付、返納等、施術所に関する規則、届け出、備えるべき要件、罰則を理解する。医療法、医師法、衛生関係法規、社会福祉関係法規、介護保険法等について理解する。	3 後	24	1	○		
○			東洋医学概論Ⅰ	中国系伝統医学(東洋医学)の一翼を担うものとして、「気」の思想・陰陽五行説・天人合一説・臓腑経絡説を理解し、それら哲学的要素を実際の臨床に還元・応用できる知性を持つ。	2 通	48	2	○	△	
○			経絡経穴概論	経絡経穴概論の入門編という位置づけとし、経絡の種類・それに属する経穴名、経穴を取穴する為に必要な解剖学的知識などを学習する。	1 通	72	3	○		
○			はり理論・きゅう理論Ⅰ	東洋医学の基盤となる蔵象学と経絡学における生理と病理の知識を養い、弁証論治の精神から多種の疾病に対応できる鍼灸師を育てる。	2 前	24	1	○		
○			はり理論・きゅう理論Ⅱ	東洋医学の基盤となる蔵象学と経絡学における生理と病理の知識を養い、弁証論治の精神から多種の疾病に対応できる鍼灸師を育てる。	3 前	24	1	○		
○			診察概論	臨床系の基本教科として、医療者としての心構え、実践意識を育てる。そのなかで適切な医療面接を行えるために、病態把握に必要な観察ができる、病態把握に必要な身体診察を選択し実施できる、全人的な患者ケア(POS)を実践できるカルテを作成することができることを目標とする。	2 通	72	3	○		
○			東洋医学概論Ⅱ	基礎的な「気」の思想・陰陽説・五行説を講義の中で説明し、東洋医学のおもしろさ、或いは独自の考え方を学習する。東洋医学の病理観・疾病観を講義し、学生諸君に東洋医学の本来の治療概念を把握できるようにする。	2 通	72	3	○	△	

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			東洋医学臨床論Ⅰ	最も基礎的、必要な東洋医学の考え方や知識を習得することにより、種々病因、病証の発生機序並びにその治療方針についての基本知識と技能を理解し、その簡単な応用ができる。	2通	48	2	○		
○			東洋医学臨床論Ⅱ	証の意義と分類についての理解し、八綱弁証、気血津液弁証と臓腑弁証の理解とその相互関係の説明および応用ができるように学習する。	3前	24	1	○		
○			経絡経穴演習	経絡の意義や概要、および経穴の取穴、要穴、局所解剖、主治等を総合的に学習する。また、経絡経穴の現代医学的意義を学習する。	3通	24	1	○		
○			社会はき学(2年次配当)	「あはき師」がおかれている我が国の医療制度の問題点や医療面接の方法について学習する。また研究手法についても学習する。	2後	24	1	○		
○			社会はき学(3年次配当)	「あはき師」が現代社会における役割について学習すると共に問題解決能力を養うため卒業論文を作成する。	3前	24	1	○		
○			基礎はり・きゅう実技	はり実技では、毫鍼による基本実技を知り、正確かつ安全に身体へ施術することができる。きゅう実技の基本実技を知り、正確ですばやく、かつ安全に人体に施灸することができる。	1通	128	4			○
○			経絡経穴取穴実技	経絡経穴概論で学習した知識をふまえ、経穴の要穴を学習するとともに、経穴の局所解剖を学習し、正確な位置を取穴できるようにする。	2通	74	2			○
○			鍼灸診断治療学Ⅰ	鍼灸臨床において遭遇する代表的な症候について、実際の臨床に即した診察・検査を通して、診断の組み立てや治療方法についての知識、技能、態度を身につける。またカルテについて理解し、問診、理学検査からカルテを作成することができる。	2通	74	2			○
○			鍼灸診断治療学Ⅱ	鍼灸臨床上、しばしば遭遇する症候について、局所解剖学および機能解剖学的なアプローチによる理論と技能を身につける	2通	74	2			○

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			応用鍼灸実技Ⅰ	医療面接、診察、治療、カルテ記載など、今までに学習した内容について、互いに学生としてではなく一患者、一治療者となり臨床現場を再現して、自分の技術を確認し、問題点を把握する。	3 前	30	1			○
○			応用鍼灸実技Ⅱ	中医学の診断法に基づく技能の習得およびその臨床への応用能力の向上を目的に、部位別(頭針、耳鍼など)の特殊療法の基礎知識(適応症、意義など)の理解し、また、四診(望、聞、問、切)の臨床応用への重要性を再認識する。	3 前	30	1			○
○			臨床取穴実技	部位別での経穴の局所解剖と十四経での要穴を中心に復習する。また、十四経絡の流注と経絡走行上の病証との関連を学習し、それを応用して臨床に結びつける知識を身につける。	3 前	30	1			○
○			臨床実技	東洋医学的アプローチで、診察・治療の手順を習熟に向けて訓練し、治療効果から診察過程にフィードバックする力を養う。東洋医学的診察法と治療の力量を高める。	3 後	30	1			○
○			臨床実習	臨床の場で鍼灸治療を学ぶ。単に疾患、病態だけではなく、病める人としてとらえ、鍼灸治療を行っていくなかで実際に患者さんに接して、患者さんと鍼灸師の人間関係のあり方、医療人としての自覚を身につける。	1 ～ 3 通	90	2			○
○			体表解剖学	人体の構造・形態を観察し、構造および形態と機能との関連を的確に理解することを目的とする。体表解剖学では、今まで学習してきた解剖学を総合して理解を深めるとともに、鍼灸臨床に応用できる知識を習得する。	3 通	48	2	○		
○			応用生理学	人体におけるそれぞれの機能的役割を正確に理解し、統合的な人体の仕組みを説明できる。	3 通	36	1	○		
○			環境学	疾病予防と健康の保持・増進の為の行動・活動の全般についての知識を習得する。	3 通	24	1	○		

(医療専門課程 鍼灸学科(夜間部)) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			病理学演習	医療従事者として必要な病気についての基礎的知識(疾病の種類、原因、形態、成り立つ機序)を西洋医学の立場から学習し、鍼灸施術に役立てることができる。	3通	24	1	○		
○			応用診察論	患者の訴える症状や外見上で得られる様子から病態を推測し、診断に必要な診察所見を選別していく能力を身につける。鍼灸師として患者にとって適切な治療法を提示するために正確な鑑別診断ができることを目標とする。	3通	36	1	○		
○			応用診断学	各科の疾患について概念を理解し、その疾患の症状、西洋医学的な検査法や治療法についても学び、鍼灸師として求められる病態の把握ができるようになる。また、多くの疾患を学ぶことで個々の疾患ばかりでなく、他疾患との鑑別の要点が把握出来るようになる。	3通	48	2	○		
○			応用鍼灸学	人体における感覚器の機能的役割を正確に理解し、人体に対し、鍼灸刺激がどのように作用するか説明できる。	3通	24	1	○		
○			中医概論	1・2年生で学習した東洋医学概論の概要を理解し、東洋医学的思想から病態の把握、診断、治療の法則を理解する。	3通	36	1	○		
○			中医各論	各症状、症例の弁証論治のトレーニングを参考にしながら、中医弁証に対して、より深く理解し、自分なりの診察パターンに作れるようになる。自分で患者情報を分析でき、証の鑑別を行いながら、病証の決定が出来ると共にその根拠について説明することが出来る。	3通	48	2	○		
○			画像診断学	現代医学で、使われる検査の中でも画像検査は、鍼灸臨床において目にすることが多い。画像検査の基本的な事項を理解するために、画像の成り立ちと各疾患における特徴像を中心に学習する。	3通	24	1	○		

(医療専門課程 鍼灸学科 (夜間部)) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			総合演習Ⅰ	鍼灸院を開業されている卒業生の治療院を見学し、実際に治療にふれ、鍼灸院の現状を確認し、これから学ぶことについての理解を深める。また、コミュニケーション能力を身につける。	1 通	25	1		○	
○			総合演習Ⅱ	学外で実施されている関連学会に参加することや、解剖見学実習を実施することにより鍼灸の知識を深め、卒業後の臨床に役立てることができるよう学習する。	2 通	25	1		○	
○			総合演習Ⅲ	国家試験に向けて3年間の総復習を行うとともに、学会、受療体験などを通じて、卒業後のイメージをわかせるようにする。	3 通	50	2		○	
合計				56 科目		単位時間 (94 単位)				